

# ヴェルディ作曲 歌劇「イル・トロヴァトーレ」

191010

幕	場面	内容	分	主な歌う登場人物					聴きどころ
第一幕 30分	前奏曲		3						
	レオノーラの勘違いによるルーナ伯爵の居城での決闘	<p>スペイン、アラゴンのルーナ伯爵の城で、隊長フェルランドが、警護兵たちに伯爵家にまつわる話を聞かせる。「昔、先代の伯爵には2人の息子がおり、兄は今の伯爵だが、ある時ジプシーの老婆が弟を呪い殺そうとした疑いで火あぶりの刑にされた。その時に灰の中から幼児の焼死体が出て、同時に弟は行方不明になった。人々は老婆のたたりと恐れたが、息子は生きていると信じていた先代の伯爵の遺言で、今のルーナ伯爵は、いまだに弟を捜している」</p> <p>アルゴン公爵の女官レオノーラは侍女イネズに、名も知らぬ吟遊詩人を愛したことを話す。暗闇の中、レオノーラに想いを寄せるルーナ伯爵が現れ、レオノーラは、待ち焦がれた吟遊詩人だと思ひ込み、ルーナ伯爵に走り寄る。そこへ本当の吟遊詩人が現れ、間違えに気づいたレオノーラが、彼の足許に詫げる。怒ったルーナ伯爵は、吟遊詩人に「名を名乗れ」と迫り、彼は「マンリーコ」と言い、レオノーラが止めるのも聞かず、2人は決闘をするために出て行く。</p>	10				隊長 フェ ランド		
第二幕 45分	ビスカヤの山中 ジプシーの女	<p>ジプシーの老婆アズチェーナが「自分の母は、先代の伯爵に焼き殺された」と歌い出す。マンリーコは、詳細な話を求める、彼女は「火焙りにされる母の復讐をしようと、伯爵の息子を盗み出し夢中で処刑の火の中に投げ込んだが、それは自分の子供だった」と話す。アズチェーナを母親と思っていたマンリーコは「では自分は一体誰なのだ」と不思議がるので、彼女は「お前は私の育ての子だ」と答える。そこへ伝令が現れ「レオノーラが、マンリーコはルーナ伯爵との決闘で敗れて死んだと思ひこんで絶望し、今夜修道院に入る」と書かれた手紙を渡し、マンリーコは、母アズチェーナが止めるのも聞かずに山を下りて行く。</p> <p>修道院の前では ルーナ伯爵がレオノーラを略奪しようと待っている。そこへ修道女に囲まれたレオノーラが現れ、伯爵が彼女を連れ去ろうとした時、家来を引き連れたマンリーコが剣を抜いて襲い、レオノーラを奪って連れ去る。</p>	25			アズ チェ ーナ	マン リー コ	ジプシーの合唱 アズチェーナの 歌	
		<p>マンリーコが剣を抜いて襲い、レオノーラを奪って連れ去る。</p>	20	伯 爵	レ オ ノー ラ	マン リー コ			
第三幕 25分	城の礼拝堂の 野営地での マンリーコ	<p>マンリーコの居る山中を攻めるルーナ伯爵の陣営に、隊長フェルランドらが、アズチェーナを捕らえて引き立てて来る。伯爵は、その老婆が仇敵マンリーコの母で、昔、弟を盗んだジプシーであることを知り、マンリーコをおびき出そうと城塞の前に火刑台を作らせる。</p> <p>レオノーラを確保したマンリーコは喜び、愛の歌を歌い、2人は礼拝堂で結婚式を挙げようとする。そこへマンリーコの部下のルイスが駆け付け、アズチェーナが捕らわれて火刑にされると伝え、マンリーコは「命を懸けても母を救うと」と叫んで飛び出して行く。</p>	15			アズ チェ ーナ	フェ ラン ド		
		<p>レオノーラを確保したマンリーコは喜び、愛の歌を歌い、2人は礼拝堂で結婚式を挙げようとする。そこへマンリーコの部下のルイスが駆け付け、アズチェーナが捕らわれて火刑にされると伝え、マンリーコは「命を懸けても母を救うと」と叫んで飛び出して行く。</p>	10		レ オ ノー ラ	マン リー コ	マンリーコの歌		
第四幕 45分	ルーナ伯爵の 居城で処刑	<p>戦いに敗れたマンリーコは捕らえられて牢獄に入れられてしまう。レオノーラは、伯爵にマンリーコの命乞いをし、伯爵は、その条件に彼女が自分に身を任せることを要求する。レオノーラは、その要求を受け入れ、密かに隠し持っていた毒を飲む。</p> <p>牢獄では マンリーコが母アズチェーナを励ましている。そこへレオノーラが現れ、「命は許されたから逃げて」と言い、マンリーコは彼女が伯爵に身を許したと疑い、その不貞を責めるが、毒の回った彼女は「他の人に添うよりも死を選びました」と告げて、彼の胸に倒れる。そこへ現れた伯爵はレオノーラに囚われたことを怒り、マンリーコを断頭台に引き立てる。牢獄からマンリーコの処刑を見たアズチェーナは、狂ったように伯爵に「あれはお前の弟だ。母よ、私は復讐を遂げた」と叫んで息絶え、伯爵は呆然と「酷い運命」と呟き幕となる。</p>	25	伯 爵	レ オ ノー ラ	マン リー コ	レオノーラの歌		
		<p>牢獄では マンリーコが母アズチェーナを励ましている。そこへレオノーラが現れ、「命は許されたから逃げて」と言い、マンリーコは彼女が伯爵に身を許したと疑い、その不貞を責めるが、毒の回った彼女は「他の人に添うよりも死を選びました」と告げて、彼の胸に倒れる。そこへ現れた伯爵はレオノーラに囚われたことを怒り、マンリーコを断頭台に引き立てる。牢獄からマンリーコの処刑を見たアズチェーナは、狂ったように伯爵に「あれはお前の弟だ。母よ、私は復讐を遂げた」と叫んで息絶え、伯爵は呆然と「酷い運命」と呟き幕となる。</p>	20	伯 爵	レ オ ノー ラ	アズ チェ ーナ	マン リー コ		

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。